

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	神学研究科
大項目	0 理念・目的 (研究科)
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員 (教職員および学生) に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告 (2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 4つの研究分野 (聖書分野、歴史・文化分野、組織・思想分野、実践分野) とその内容について、研究科の内外に周知を図ると共に、神学研究科の理念・目的との関連について定期的な検証を行う。	→履修モデルの作成と公開 (WEB等の広報媒体への掲載、履修指導への反映 [心得に掲載])	C	C	B		
2. 上記研究分野を基礎とした履修コース (キリスト教神学・伝道者コースおよびキリスト教思想・文化コース) それぞれの意義付けを、カリキュラム編成に生かす。(博士課程前期課程)	→コース名称の変更とカリキュラムの改訂	B	B	B		

☆

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	前期課程においては、履修コース別かつ研究分野別に「履修モデル」を作成した (2011年度)。またそれらは、WEBサイトおよび研究科『履修の手引』にて公開し、2012年度より履修指導に活用している。
☆ 目標2	主だった進捗はないが、前期課程・履修コース名称の変更については学部との接続を考慮し、学部「キリスト教伝道者コース」の初めての卒業生を待って対応の予定である。2013年度から2014年度にかけて本格的に検討および学則改正に取り組み、2015年度から適用する (現在は緩やかに検討を開始している状態である)。
備考	